

優しい風の吹く街



2024年4月1日に宝塚市は市制70周年を迎えました。コロナ禍を乗り越え新たなスタートとなりましたが、経済的困窮世帯は増加傾向で課題は山積しており、確かな社会保障制度を再構築していくことが求められています。

市長が「子どもまんなか応援サポーター」を宣言していますので、私も子どもと子育て世帯に優しいまちの実現のため、児童福祉と教育に重点をおく施策推進のため努力していきます。まず地域児童育成会待機児童解消が必須です。



活動報告

- 1月 2日 居合道協会新春奉納演武
- 1月 7日 消防出初式
- 1月17日 阪神・淡路大震災追悼献花
- 1月20日 議会報告会
- 2月13日 議場コンサート
- 2月13日～3月26日 定例市議会

議会運営委員会行政視察

<松本市議会>

1/23

- 1 ステップアップ市民会議
- 2 意見交換会ワールドカフェ方式
- 3 高校生意見交流→請願→政策実現
- 4 松本市議会子どもだより発行

<四日市市議会>

1/24

- 1 議会モニター制度
- 2 議会報告会&シティ・ミーティング
- 3 出前型意見交換会「ワイ！ワイ！GIKAI」
- 4 高校生議会



松本市議会と四日市市議会の市民参画のとりくみやシティズンシップ教育は大変参考になった。



松本城



宝塚市2024年度当初予算は905億円

主な新規・拡充事業

- 都市計画道路整備：21.6億円
(荒地西山線・競馬場高丸線)
- 新ごみ処理施設：9.5億円
- 学校などの建物施設・道路・橋梁整備
老朽化対応：57.9億円
- 小中学校屋内運動場空調新設設計
施工費
- スクール・サポート・スタッフ配置
- 私立保育所誘致整備(武庫川右岸地域)

70周年記念事業・ピックアップ事業

- ウィルキンソンタンサンで腕組み乾杯ギネス記録に挑戦
(生誕120周年を迎える本市発祥のウィルキンソンタンサン
を活用し、炭酸と温泉をさらにPR)
- 市花ダリアのブーケでギネス記録に挑戦
(ダリアのブーケを花のみちに並べ個数で挑戦)
- 宝塚だんじりパレード ●手塚治虫記念館30周年事業
- 豊岡演劇祭2024に参画 一部公演の実施
- 宝塚市議会70周年記念シンポジウム ●光のアート
- 宝交早生イチゴプロジェクト ●宝塚歌劇市民貸切公演
- 宝塚学検定「宝塚まちかど学令和版」出版
- 介護フォーラム in 宝塚 ●ハーフマラソン (その他)

予算特別委員会 北野質疑&答弁 ~抜粋~

教育費

<質問>

宝塚市が2003年から実施してきた「子ども支援サポーター」制度は、心理サポーターやコーチングサポーター、別室登校指導員を配置し、評価が高い。この度、兵庫県の「ひょうご不登校プロジェクト」の拡充により、校内サポートルームにおける不登校児童生徒支援員の配置支援が決まったので、宝塚市の制度も拡充されるのか。

<答弁>

今まで市の予算で別室登校指導員を中学校に週3回配置していたが、2024年度から県の補助金を活用し、小学校でも学校内に別室を設置し不登校支援を実施する。現在2校に研究校として別室登校指導員を配置している。今後それ以外の全小学校に週2回不登校児童に対応するスタッフを配置する。子ども支援サポーター Assistスタッフとして採用し、学校と相談しながら配置する。

<質問>

宝塚市が他市に先駆けて設置したスクール・

ソーシャル・ワーカーだが、未配置校があるというのが課題である。解決策は。

<答弁>

未配置校には、配置校から派遣する形をとっているが、配置校での相談件数が多く手が回らないという実態がある。来年度には教育委員会に1人配置し派遣するようにしていく。

北野さと子の意見

配置型から派遣型になるデメリットも予想できる。子どもや保護者、教職員などの現場の意見をしっかり汲み取りながら進めてほしい。

<質問>

安心安全で美味しい学校給食の維持について。

<答弁>

物価高騰の影響を受けている子育て世帯を支援するため、引き続き市が食材費の一部を負担することで、保護者負担を増やすことなく質の高い給食を提供する。

<質問>

給食費無償化については市町が競うのではなく国の統一した施策を求めたいが。

<答弁>

市長としても国に働きかけていく。

民生費

<質問>

地域児童育成会や放課後児童クラブの待機児童がファミリーサポートを利用しやすくできるか。

<答弁>

提供会員の登録者数を増やしていく。

<質問>

私立保育所の保育士や民間児童クラブの支援員は公立と比べて研修等の機会に恵まれていない。人材確保と資質向上のために研修参加を。

<答弁>

公立で実施する研修への参加を呼びかける。また安定的に保育士を確保できるよう、新卒や既卒問わず、市内私立保育所等に採用される常勤保育士が、採用後1年間継続して勤務した場合に、1人あたり12万円を一括で支給する保育士就職支援事業を始める。

総務費

<質問>

市政70周年記念・市民活動支援補助金で何をめざすのか。審査基準は。

<答弁>

ともにお祝いし、まちづくりに参画する市民の皆様のご気持ちを未来につないでいく事をめざす。実現可能性・安全性・的確性を基準とする。

<質問>

阪神・淡路大震災が発生から30年を迎える。被災の経験を次世代に継承していく取り組みは。

<答弁>

1月17日には慰霊式とゆずり葉緑地のタイムカプセルを開ける予定。震災を忘れないように後世に伝えていく。

土木費

<質問>

宝来橋の橋梁上の植栽の整備計画は。

<答弁>

2024年度から灌水の回数を増やし整備する。

消防費

<質問>

機動救急隊発隊による救急救命体制の強化は。

<答弁>

増加する救急出動に対応するため、救急救命士の資格を持つ日勤職員3人を隊員とする。救急の現場到着時間の短縮や病院到着時間も短縮が図れ、救急隊の疲弊した労務管理上の現状も緩和されると考えている。

<質問>

被災地の人命救助や災害復旧業務に従事した職員の労働安全衛生策は。

<答弁>

被災地に派遣され現地で各種活動に当たった隊員は「惨事ストレス」と言われる特殊な心理的負担を受けることがある。消防本部では内規に基づきPTSD予防チェックの結果に応じ、経過観察や専門家による相談窓口の紹介等を行っている。



能登半島地震義援金募金活動



1/5

橋本なるとし県議・
川口じゅん市議とともに

宝塚市議会・意見交換会



2/3

50人以上の参加があり、
子どもたちも一緒に盛況だった。
議会内の案内、議員シールラリー、
課題ごとの意見交換会と続いた。
今後も開かれた議会・信頼される議会
をめざしていく。

高司小学校「みんなの先生」



1/18

宝塚市議会のしくみや、市の政策と
生活の関係、子どもの権利条約と性の
多様性等の授業。子どもたちが一生
懸命考えてくれたので嬉しかった。
アクティブラーニングにつなげたい。

高校生がつくる 未来への架け橋



3/17

高校生平和大使メンバーとのパネル
ディスカッションのコーディネーター
を務め、世代を超えて語り合いながら
平和への思いを深めた。
(神戸カナディアンアカデミー)



文教生活常任委員会「介護ファミリーサポートセンターの存続を求める請願」の紹介議員を務めた。国が在宅介護予算を削減し、本市でも介護ファミリーサポートが立ち行かなくなっている。意義深い質疑が交わされ家事サポートや介護予防のあり方への問題提起となった。結果は趣旨採択。引き続き注視していく。